

平成 25 年度

事業計画及び収支予算書

公益財団法人いばらき文化振興財団

## 目 次

I 事業計画.....	1 ~ 16
II 収支予算.....	17 ~ 19

# I 事業計画

基本方針	1
1 事務局の運営	1 ~ 5
2 県民文化センターの運営	5 ~ 9
3 アクアワールド茨城県大洗水族館の運営	10 ~ 16

# I 事業計画

## 基本方針

当財団は、新公益法人制度に則り、平成25年度より公益財団法人へ移行し、公益財団法人いばらき文化振興財団としての新たなスタートを切る。

これに伴い、新たに中期経営計画を策定し、公益法人としての使命達成を目指すとともに、公益認定基準を遵守した健全で責任ある経営を行っていく。

なお、収益事業についても、公益目的事業の財源確保や利用者へのサービス向上を目的として遂行していく。

また、個性豊かな県民文化の振興を図るため、様々な芸術公演を県民に提供するとともに文化芸術の担い手を育成するほか、県民の文化活動の拠点として利用されている「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努め、この基本理念を達成するため、全職員が一丸となりその実現に向かって運営に当たるものとする。

なお、平成23年度及び24年度には、東日本大震災の諸影響を大きく受けて利用者数が減少したが、平成24年度中に県民文化センター大ホールが再開したことや、水族館入場者数が回復傾向にあることから、平成25年度の利用者数及び財務状況は、2年ぶりに、通常ベースに近いところまでの回復を見込んでいる。

このため、各部門ともに、収支差額の確保を目指し、引き続き事業費の経費節減等に努めるほか、施設修繕など利用者の安全性確保のため必要なものについては実施し、施設管理面における安全性の向上に引き続き努めていく。

大洗水族館については、入場者数は回復傾向にあるとはいえ、いまだ原子力発電所事故の風評の影響が残っていることから、魅力ある誘客促進策の展開及び情報発信の推進により、さらなる入場者の確保に努めていく。

これら、財団を取り巻く状況を踏まえながら、全職員が経営環境を認識し、これまで以上に利用者が求める魅力ある事業展開とサービスの向上を図ることで、利用者の確保及び安定した経営に努めていく。

新中期経営計画の初年度の平成25年度の利用者目標については、前年度当初計画に対し27万人増となる、財団全体で年間158万人（県民文化センター利用者56万人、アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者102万人）に設定する。

## 1 法人運営事業

県から指定管理を受けた茨城県立県民文化センターの管理運営及び財団自らが運営するアクアワールド茨城県大洗水族館の運営及びこれらに必要な付帯事業について、県及び各事業所との連絡調整等引き続き緊密な連携を図る。また、業務推進の進行管理とともに次の事業を行う。

ア 理事会、評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び収支予算等理事会議案の策定を行う。

イ 中期経営計画推進委員会において、進行管理及び進捗状況を検証するとともに、計画達成に向けた調整を行う。

ウ 職員の資質向上を目的とし、階層別研修を行うほか、各種セミナーを積極的に活用し、必要な知識の習得に努める。また、救急法に関する研修を実施し、不特定多数の利用者が利用する施設職員として必要な技能の習得を図る。

## 2 公益目的事業 1 (文化振興事業)

### (1) 自主公演事業 (主催公演 2 1 事業, 共催公演 1 3 事業, 計 3 4 事業)

オーケストラ, バレエ, 歌舞伎等の芸術性の高い公演を目玉に文化芸術に接する機会を提供する。また, 引き続き音楽をメインとした学校・公共施設へのアウトリーチ事業を展開することで, 文化芸術に触れる機会の充実に努める。公演事業区分を「普及」「参加創造」「鑑賞」の3事業に区分することで, 目的・テーマ別に公演を企画し, 県民各層のニーズに応え, より一層の文化水準の向上に寄与する。

#### ア 普及事業

本県ゆかりの新進演奏家を県内の特別支援学校等に派遣し, 生の演奏を身近に児童生徒に体感してもらい「音楽出前講座」及び公立文化施設等において地域住民を対象とした「公共スペースコンサート」を開催し, 音楽文化の普及に努める。なお, 常陸大宮市文化センターにおいて「親子で楽しむオペラ教室」を無料で開催し, 地域住民が身近にオペラを鑑賞する機会を提供する。

また, 茨城県の有望な新進演奏家に発表の機会を提供し, 本県音楽文化の向上を図ることを目的とした茨城県新人演奏会を開催するほか, 芸術文化の普及・育成を図る目的で歌舞伎, オペラ公演に合わせて, 本公演の出演者・演目等に関するレクチャーを開催する。

#### イ 参加創造事業

茨城県新人演奏会出演者など本県ゆかりの新進演奏家に発表の機会の提供と育成を図るために, 演奏能力とトーク術の向上を目的とした心あたたまる「アットホームコンサート」を開催する。また, 新進演奏家のステップアップとして様々な曲目と演奏技術を披露することが出来る本格的なコンサートとして「プロムナードコンサート」を開催する。

#### ウ 鑑賞事業

「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団&清塚信也」「華麗なるクラシックバレエ・ハイライト」を開催し, 海外の優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会を提供する。また, 毎年恒例の「松竹大歌舞伎」(出演: 四代目市川猿之助)を開催し日本の優れた伝統芸能を鑑賞する機会を提供するとともに, 県内市町村の公立文化会館との連携事業として鑑賞ツアーを行い, 県内唯一の開催となった伝統芸能の鑑賞機会の拡充に努める。さらに, シネマ鑑賞会として弁士・生演奏付き無声映画と茨城県にゆかりのある映画を提供し, 今では見る機会の少なくなった古き良きメディア芸術の存続を図るとともに県民の多種多様な要望に応える。

## (主催公演計画)

	月 日	公 演 名	会 場
普及 事業	7月26日(金)	歌舞伎をより楽しむ会	県文小ホール
	8月17日(土)	親子で楽しむオペラ教室	常陸大宮市 文化センター
	9月8日(日)	第39回茨城県新人演奏会	県文大ホール
	10月9日(水)	オペラをより楽しむ会	県文集会室10号
	通年	音楽出前講座(2事業)	特別支援学校等
	通年	公共スペースコンサート(2事業)	県内公共施設
参加 創造 事業	6月22日(土)	プロムナードコンサートV o l . 7	県文小ホール
	2月11日(火・祝)	プロムナードコンサートV o l . 8	県文小ホール
	12月, 他	アットホームコンサート2013(3事業)	グリル「モンマルシェ」
	8月, 12月	アットホームコンサート2013(2事業)	アquareル <sup>o</sup> ・大洗
鑑賞 事業	6月19日(水)	モスクワ・フィルハーモニー交響楽団 & 清塚信也	県文大ホール
	7月20日(土)	華麗なるクラシックバレエ・ハイライト	県文大ホール
	7月26日(金)	松竹大歌舞伎(2回) 出演:市川猿之助, 他	県文大ホール
	11月21日(木)	宝塚歌劇月組全国ツアー公演(2回) 「J I N - 仁 - 」 「 Fantastic Energy 」	ひたちなか市 文化会館
	1月13日(月・祝)	シネマ鑑賞会 (弁士付き無声映画, 茨城県ゆかりの映画)	県文小ホール
	1月18日(土)	新春 笑ホール寄席(2回公演)	県文小ホール
主催事業計(21事業)			

## (共催公演計画)

	月 日	公 演 名	会 場
鑑賞 事業	4月7日(日)	しまじろうコンサート(2回)	県文大ホール
	5月18日(土)	アリス コンサートツアー 2013	県文大ホール
	5月19日(日)	劇団四季ファミリーミュージカル「桃次郎の冒険」	県文大ホール
	6月1日(土)	フォークシンガーといっしょに歌おう、あの 歌をもう一度!(出演:青木まり子/因幡晃)	県文小ホール
	6月3日(月)	さだまさしコンサートツアー 2013	県文大ホール
	6月5日(水)	辻井伸行 日本ツアー 2012/13	県文大ホール
	6月16日(日)	平原綾香 10th Anniversary CONCERT TOUR 2013	県文大ホール
	6月23日(日)	米村でんじろう サイエンスショー(2回)	県文大ホール

## (共催公演計画)

	月 日	公 演 名	会 場
鑑 賞 事 業	7月25日(木)	郷ひろみ CONCERT TOUR 2013	県文大ホール
	8月31日(土)	立川談春 独演会	県文小ホール
	10月16日(水)	葉加瀬太郎 コンサート	県文大ホール
	10月31日(水)	ベスト・タンゴ	県文小ホール
	11月 2日(土)	綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ	県文大ホール
共催事業 (13事業)			

※ 会場欄の「県文」は県民文化センターの略。

## (2) 受託公演事業 (28事業)

## (7) いばらき文化芸術創造・発信事業 (4事業)

茨城県の文化芸術の拠点として、震災からの復旧後、引き続き心の復興に資する事業を実施する。

県内中高生を対象に世界で活躍する水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスンを開催し、県内中高生の演奏技術の向上と音楽文化の振興を図る。

また、チェコを代表するオペラハウス、プラハ国立歌劇場によるオペラ「魔笛」を上演し、本格的で質の高い海外オペラ公演を鑑賞する機会を低料金で提供する。さらに、心の復興を図るため本県ゆかりの歌手・クミコ（水戸市出身）がオーケストラと共演するコンサートを無料で開催する。

## (公演計画)

実施日	公 演 名	会 場
	いばらき文化芸術創造・発信事業	
6月30日(日)	水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン	水戸芸術館
10月19日(土)		県文大ホール
10月 9日(水)	プラハ国立歌劇場オペラ「魔笛」	県文大ホール
11月15日(金)	クミコ CONCERT (管弦楽：東京室内管弦楽団)	県文大ホール
受託公演事業 計 (3事業)		

## (4) 文化の担い手育成事業 (24事業)

茨城県新人演奏会出身者等、茨城県にゆかりのある演奏家の協力を得て、音楽出前講座(20校)及び公共スペースコンサート(4会場)を開催することで、児童生徒や地域住民に芸術文化に接する機会を提供する。また、笠間市にて開催されている世界的講師陣によるクールシュヴェール国際音楽アカデミーにおいて新人演奏会受賞者等の参加を支援するための費用を一部負担し、新進演奏家の育成を図る。

## (3) 財団振興事業

財団振興積立金を活用し、財団職員の一体感を醸成するとともに、各事業所間の連携を図りながら、財団の事業内容を広く県民にアピールするため、文化振興につながる共通的な事業や広報活動等を展開する。

ア 各種イベントへの参加による財団PR

県内の集客力のあるイベントへ参加し、財団事業のPRを行う。

イ 財団全体の広報

財団事業全般の新聞等広告掲載（文化振興事業、県民文化センター及び大洗水族館事業）

(4) 文化芸術活動助成事業

文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励する。

【文化活動団体等事業】

県民が自ら実施する美術展、音楽会、演劇等の文化活動に対して助成する。

事 項	内 容
助 成 件 数	53事業
1事業当たりの助成額	50万円以内

(5) 市町村文化施設及び地元演奏家等への支援事業

本県内の公立文化施設で構成する茨城県公立文化施設協議会の会長館として、会員の会館との相互情報交換をはじめ、職員研修の実施や技術的支援と連携を図り、地元音楽家や文化団体の育成・支援を行っている。

(6) 県民文化センター管理運営事業

平成25年度は、第2期指定管理期間の3年目及び当財団の中期経営計画初年度に当たるため、それぞれの目標を意識し、県民文化センター利用者のニーズに応え安全安心で快適に施設が利用できるよう管理運営に努めて参ります。

[指定管理部門]

東日本大震災の影響は、大ホールの一般利用再開が平成24年9月1日であったことから、本年度上期の予約が伸び悩むなどの影響が残る一方で、他の施設の利用状況は順調であり、東日本大震災の被災から回復しつつあると言えます。

今後は、一層のサービスの向上を図るとともに、新規団体及びリピーターの確保及び閑散期の利用促進に努めます。

ア 施設の利用促進及びサービスの向上

(7) 割引制度による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定で「施設利用料金の割引」を継続し実施します。具体的には、利用率の低い大ホール、小ホール、展示室、県民ギャラリーの施設利用料（付帯設備を除く）を「50%割引」します。

(イ) 新規利用者（団体等）への誘客及びリピーターの確保

施設の利用促進を図るため、新規団体及びリピーターの確保に努めます。

- a 催し物ご案内（情報紙）を毎月12,000部発行し、水戸市内の団体を中心に200箇所程度配付するとともに、近隣市町村及び関係各団体への配付を行い情報提供に努めます。また、配布先の見直しを随時行い効果的に配付します。

- b 自主制作ホームページの随時更新及び充実を図り、ホール、集会室等の空き情報をリアルタイムに発信し、利用者が利用（予約）しやすい環境を提供します。
  - c 過去の利用実績のある団体等を中心に、ダイレクトメールを送付するとともに訪問活動を行い、リピーターの確保に努めます。
  - d 新聞等広告掲載による広報活動及び、取材及び無料記事掲載ができるような各種情報及び話題提供に努め利用促進を図ります。
  - e 関係各団体等と連携を強化し、利用促進に努めます。
    - ・茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会と連携し、情報を共有します。
    - ・県民文化センター友の会と連携し、チケット販売を促進するとともに、会員の利用促進に努めます。
    - ・各関係団体と連携し、全国規模の大会等の誘致に協力するとともに、利用促進を図ります。
- (ウ) サービスの向上
- 利用者が快適に施設を利用できるよう、さまざまなサービスの提供に取り組めます。
- a インターネット接続サービス  
光回線が整備されたことで、利用者からの要望が高かった集会室等でのインターネット（パソコン）を使用できる環境整備を進めます。
  - b 会場申し込み及び公演等チケット販売業務を毎日午後7時まで延長し、仕事帰りや昼間の来館が困難な利用者に対応します。
  - c 自宅や職場等のパソコンから主要な書式等を事前にダウンロードできる環境を整え、申し込み等の事務手続きの簡素化を図ります。
  - d 利用満足度調査（アンケート調査）を毎月実施し、施設、設備及び職員等の対応についての要望を把握するとともに改善し、利用満足度が80%を超えるように努めます。
  - e 親切丁寧で利用者のニーズに合った対応を心掛け、応接研修を実施するなど、更なるスキルアップを図ります。
- (エ) イルミネーション事業
- 平成12年度「21世紀カウントダウン事業」の一環として始まったイルミネーション事業は、東日本大震災の影響で一時休止となりましたが、平成24年度には大ホールの「再開」と利用者の皆様との「再会」を記念して再構築され第12回目を実施しました。
- 43日間の期間中、延べ20,000人の来館者（催し物の来館を除く人数）が訪れ、マスコミ等にも大きく取りあげられたことから、県民文化センターの東日本大震災からの完全復旧をアピールすることができました。本年も、冬の風物詩として話題となるように努め、またグリーン電力を使用して実施するなど環境へも配慮しながら県民文化センターのイメージアップを図ります。

(オ) 県民文化センター友の会の運営

県民文化センター友の会は、設立当初301名の会員数でしたが、現在では約2,500名前後となり、県民文化センター事業及び県民文化水準の向上に大きく寄与してきました。今後も会員の確保に努め、会員の皆様とともに事業を進めます。

イ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画の策定と実行

施設の老朽化を抑制するとともに長寿命化を図るため、計画的な修繕を実施します。なお、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い修繕箇所は優先し県と協議しながら実施します。

a 日常点検を徹底し、不具合の早期発見に努めるとともに緊急性の高い修繕箇所を優先に解消します。

b 満足度調査結果を利用者の声としてとらえ、優先して不具合等の解消に努めます。

c 単年度修繕計画に基づき修繕を進め、利用者の安全を確保します。

d 環境への配慮に努め、省エネルギーの推進、ゴミの分別化や削減等に取り組めます。また、偕楽園公園に隣接する施設として環境美化に努め、適正管理を行います。

e 障害を持たれた方や高齢の方々が来館した際に、施設を快適に利用できるよう改善に努めます。

- ・ 催し物に合わせた障害者専用駐車場臨時増設。
- ・ 常備する車イスを増やすとともに最新型に更新。
- ・ 施設警備員も含めた親切な案内誘導の実施。
- ・ 案内誘導板の文字・デザインの改善及び見やすい場所に設置。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災で得た教訓を活かし、火災訓練のほか大規模地震を想定した避難訓練を実施し利用者の安全確保に努めます。また、危機管理対応マニュアルの常時見直すとともに、全職員及び文化センター委託業者並びに使用者等、関係者全員に周知徹底させ、災害発生時には速やかに行動が出来るようにします。

- ・ 避難訓練（年2回、火災及び大規模地震を想定）の実施
- ・ 危機管理対応マニュアルの常時見直し
- ・ AEDの管理及び作動方法取得の徹底
- ・ 火災、地震発生時の対応のほか、不審者への対応、水害・傷病 等への対応
- ・ 関係各団体との連絡体系の整備（毎年確認）

\* 施設利用計画

	利用者数 (人)	利用日数 (日)	利用料金 (千円)	利用率 (%)
大ホール	257,641	221	53,195	80
小ホール	64,511	208	11,008	80
集会室(6室)	60,121	317	7,282	80
分館集会室	44,044	333	11,849	80
和室(本館)	3,572	203	1,264	80
一般展示室	67,311	246	6,447	80
県民ギャラリー	62,800	205	3,955	80
計	560,000	1,733	95,000	80

\* 利用率とは、利用可能日に対する利用日数の割合。

### 3 収益事業1 (県民文化センター自主事業)

#### (1) グリル事業

県民文化センターグリルは、東日本 震災で被災を受け休業しておりましたが、大ホールの再開に合わせて営業を再開し、順調なスタートを切ったところですが、一方では、震災前の数年間は、不況の影響やグリルを取り巻く環境の変化等により売上げが減少し、また、売上げに対する人件費比率が高いなどに起因して収支が赤字基調となっておりました。

今後は、赤字基調からの脱却が急務であり、グリル利用者の増加による収入の確保とともに、人件費等経費の削減を図り、効率的な運営を行って参ります。

#### ア グリル・売店の運営

グリルの再開にあたり、コンセプトをはじめ様々な重点事項の検討及び協議を重ねました。今後は、それらを検証し、改善し、健全経営に努めます。

##### a 主な検討課題及び実施項目等

- ・営業日、営業時間の見直し
- ・人員削減及び仕入れ等コストの見直し
- ・提供するメニューの見直し
- ・店内フロアレイアウトの見直し
- ・外観、内装等の改善、改装
- ・収支シュミレーションの策定及び見直し

#### イ サービスの提供

利用者に親しまれるレストランとなるよう、美味しい食事の提供、スタッフの親切丁寧な対応に努めます。

##### a メニューの改善

- ・季節や催しに合ったメニューの開発及び提供に努めます。
- ・文化センターの記念日等には、日頃からのご愛顧に感謝し「格安メニュー」を提供致します。
- ・自家製弁当の種類を増やし、利用者のニーズに応えます。
- ・大小各種パーティー(宴会)に対応するメニューを提供し、利用者のニーズに応えます。

##### b サービスの提供

- ・笑顔で親切丁寧な対応に努めるとともに、応接マナーの向上（スキルアップ）に努めます。
- ・コーヒー等の割引券を発行するなどサービスの提供に努めます。
- ・アンケート調査を実施し、利用者からの要望を把握し、速やかな改善に努めます。
- ・催し物の開演時間により営業時間の延長等の対応を致します。
- ・ボリュームがある食事でも割安感がある料金設定とします。
- ・季節に応じた内装等を変更し環境整備に努めます。

ウ 収入計画（ Grill及び売店） （単位：千円）

飲食料収入	44,520
売店収入	16,000
諸収入	2,100
合計	62,620

(2) 駐車場事業

千波公園・県民文化センター前駐車場は、主に県民文化センター利用者のほか千波公園及び茨城県近代美術館等を利用するための多目的な駐車場として利用されており、利用者が安全安心で快適に利用できるよう施設の維持管理に努めるとともに、偕楽園公園内に位置する駐車場であることから、環境への配慮にも努めて参ります。

ア 事故及びトラブルの未然防止

駐車場の利用は、催し物により利用時間帯が集中する傾向にあり、一時的に料金所入り待ちが発生し、また、催し物終了後にも一時的な交通渋滞が発生することから、円滑な交通誘導や案内・サービスに努め、事故・トラブル等が発生しないよう未然防止に努めます。

- ・催し物開催時に合わせた警備員の増員
- ・必要に応じて臨時駐車場の確保
- ・親切丁寧な案内・誘導
- ・入出庫が分かりやすい駐車場管理

イ 計画的な施設整備

県と協議のうえ、計画的な整備を進め良好な運営に努めます。

- ・駐車場内の危険箇所の早期発見、修繕
- ・誘導案内板等の整備

ウ 利用計画

利用台数(台)	160,720
収入(千円)	30,022

## 4 公益目的事業2（水族館事業）

### (1) 施設管理運営事業

水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通して、生物の多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娯楽性を兼ね備えた海の総合ミュージアムとして運営する。

また、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させるとともに「企画」「広報」「販売」が密接に連携しながら魅力ある水族館情報の発信とサービスの向上を図る。全館的な誘客促進対策を実施し「元気で魅力ある水族館」「あきさせない水族館」を目指し入場者の回復に努める。特に、栃木県を最重点地域と定め個人客や団体客への営業活動を強化する。

さらに、茨城を代表する観光施設として、地域社会に貢献し県民や地域と共に歩む水族館づくりに努めるとともに、関係機関と連携を図りながら各事業を推進し、安定した水族館運営を行う。

なお、風評被害対策として、地震や津波に備えた安全対策や放射線量等の安全情報発信に努めるとともに、定期的な災害訓練や非常時の対策など危機管理体制の強化を図り「安全、安心な水族館」を広くアピールし入場者の確保を図る。

ア 展示やショー・企画などは常にお客様の目線で考え、「ふしぎ・驚き・発見」のインパクトを与え、「楽しさ・やすらぎ」をもたらし「いつ来てもあきさせない水族館」を目指す。

イ お客様のニーズに沿った新規生物の導入を含め、水族館の柱である魚類展示の創意工夫に努めるとともに生物の繁殖についても推進する。

ウ イルカ・アシカ・ペンギン・カピバラ等のショーのレベルアップとバリエーションの充実に努める。

エ 学校や地域社会と連携し、環境教育を行う生涯学習施設として運営する。

オ 県民や地域社会と連携した事業を展開することによって、茨城県の地域や文化、経済の発展に貢献する。

カ 自然保護と種の保全に努め、地球環境の保全に貢献する。

キ 北関東ほか近隣動物園水族館との「ファイト7」や国営ひたち海浜公園との連携、三浜地区大型施設や姉妹館との連携など関係機関との事業連携を推進する。

ク 入場者の確保対策として、県外では、栃木県を最重点地域と定め誘客促進事業を展開し入場者の確保を図り、安定した運営に必要な収入の確保に努める。

ケ 平成25年度入場者計画 総入場者数 1,020,000人

コ 管理運営部門

(7) 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、経営調整会議・販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的を開催するなど、経営状況を随時把握し安定経営に努める。

(4) 入場者の完全な回復が見込めないため、事務事業の効率化を図るとともに、経営状況により随時、運営経費の見直しを行うとともに、節電・節約等経費の節減対策と効率的な予算執行に努める。

- (ウ) 職員の接客研修を実施するほか、外部の民間施設での研修等を実施し、入場者へのサービス向上及び職員の資質向上を図る。
- (エ) 生物飼料の残滓リサイクル実験における分析結果を踏まえ、製造された残滓肥料について、再資源化に向けた周知を行うとともに、花木及び農産物生産を行う専門機関に配布して有効活用を図る。
- (オ) 地震・津波・火災等に備える避難訓練を引き続き実施するとともに、不審者に対応する防犯訓練や、エレベーター緊急時の対応研修、さらにはAEDを含む救命救急講習などを実施し危機管理体制の強化に努める。
- (カ) 県有財産であるアクアワールド・大洗を都市公園法に基づき管理するにあたり、施設設備の修繕等について、財団の積立金を有効に活用し安全な施設管理を行う。

## (2) 飼育展示事業・調査研究事業

基本テーマに沿った生物の多様性について、「見て、触れて、遊びながら楽しみ学べる展示」の充実に努めるとともに水生生物等に関する調査・研究を行う。

また、種の保存、生物と自然環境に関する研究成果を還元し、教育的側面から生涯学習施設としての役割を担うほか、学芸員実習や中学生の職場体験学習、小学生総合学習等の受入れを行い、博物館相当施設としての役割を担う。

### ア 魚類展示

飼育生物の展示・飼育・繁殖・研究を行うとともに、入館者のニーズに即した新規生物の研究開発にも努める。また、既存水槽設備を最大限に活用するとともに、展示テーマ以外の生物についても、季節展示やイベント・企画展などに組み入れ展示の充実に努める。

対話形式の展示解説では、アクアウォッチングやシャークウォッチング、マンボウ・出会いの海の大水槽でのお食事タイムや水族館探検ツアーの更なる内容充実を図る。

生物収集では、サメ類・クラゲ類・イカ類・深海生物などの収集強化とともに、長崎県においての生物調査・収集を継続する。また、他水族館や水産関係機関との情報交換及び収集活動の連携を強化する。なお、新たな展示生物種の導入に向けて生物収集基地の更新のため、現地調査を継続して実施する。

調査研究では、大型サメ類の行動・繁殖、造礁サンゴ類発生卵からの育成、県内のウミガメの生態・産卵、マンボウやクラゲ類の生態・分布などをテーマに、継続実施し、データの集積とともにその成果を公表しながら試験飼育を行い、できる限り展示に反映させるよう努める。

### イ 海獣展示

海獣類の展示・飼育・繁殖・育成に関する研究を推進するとともに、イルカ・アシカオーシャンライブによる能力公開及びラッコ、エトピリカ、ゴマフアザラシ、カリフォルニアアシカ、フンボルトペンギン、カピバラの餌付け解説（お食事タイム）、ペンギンのお散歩（5月6日まで実施し、11月から再開）を行うなど、生物の生態について、より楽しく学べる形で紹介する。

イルカ・アシカオーシャンライブでは昨年から実施した、日本初「イルカ・アシカ愛のランデヴー」や水中パフォーマンスの充実を図り、お客様との一体感のある内容でライブを盛り上げる。また、将来に向けたライブ出演頭数の確保、レベルアップを推進するため各動物の訓練をさらに進める。

カピバラについては、お客様とのふれあいタイムの実現に向け、施設の改修も含め実施方法について検討する。

繁殖については、3年続けて出産がある鯨類の繁殖を目指すとともに、ラッコの5個体目の出産・繁殖を図るほか、引き続きエトピリカの繁殖を推進する。また、飼育施設を有効に利用し、血統の良好なフンボルトペンギンの繁殖を計画するとともに、カリフォルニアアシカの繁殖を目指してペアリングを実施する。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら茨城県沿岸への漂着（ストランディング）調査活動を引き続き推進する。

#### ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から委託を受けた水系展示水槽の管理を行うとともに、水生生物の自家採集をはじめ魚類等の入手業務、水系ウォッチング及び自然環境調査協力等の業務を行う。

また、今後の水系展示の運営方法や管理の受託について見直し、自然博物館との協議を進める。

### (3) 教育普及事業

生き物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進めるとともに、内容については常に見直しを図る。

また、ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により、自然観察会や講演会等への講師派遣の他、移動教室を開催する。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習や各種団体等の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

その他、生涯学習関連施設間との新たな事業の展開を目標に県や地域との協議・調整を実施する。

#### ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」や会員制教室「アクアパル」、「さかなの絵コンクール」等の事業を実施する。自然体験塾については、人気のある水族館ナイトキャンプを昨年度の2倍の8回に増やして実施する。

(発見体験学習内容)

名 称	内 容	期 間
(1) 自然体験塾	実験観察室での生き物観察や工作、野外での自然観察会等、生き物や自然に関する講座を20テーマ、延べ28回実施。	通 年
(2) アクアパル	ポイント制会員クラブ。前年度までの2年間の講座に参加してポイントを獲得した参加者に対し、水族館ナイトキャンプ等の特別講座を3回実施。	6月 10月 2月

名 称	内 容	期 間
(3) さかなの 絵コンク ール	入館者（小学生）を対象に、展示生物を写生する機会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は4回実施。	10月～12月
(4) 絵てがみ 展	旬の食べ物や行事、花や生き物等、季節や自然をテーマにした作品展の開催。毎月優秀作品を選考して館内に展示。	通 年

#### イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして、なるほど魚っちんぐ（お魚発見教室レクチャー）、アクアウォッチング（水中対話解説）、お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種ショープログラムを実施する。

また、解説員の業務管理や指導、類似施設研修等を行い、レベルの高いパフォーマンスの維持に努める。

#### ウ コンピューター情報運用管理

館内の情報端末や館内外へ向けたホームページ上において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関して情報発信を行う。ホームページはコンテンツ検索利便性向上のため、随時新たな情報の更新に努める。また、ホームページのアクセス解析により閲覧者の動向分析やPR効果を評価し、さらに有効な広報媒体作りに活かす。日常のコンピュータシステム管理については、システム端末等において散発的に発生した動作不良、部品交換等の不具合解消に努める。その他、コンピュータ機器の更新内容の検討を行う。

#### エ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。年間を通して募集・研修を行うとともに毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進める。6月に総会と研修、10月に他園館との交流研修、11月に活動発表会「マンボラフェスタ」を開催する。

#### オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を目的に、水族館のイメージアップ、広報を図るため展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し（第24・25号）、国内の動物園・水族館や県内の教育機関等および栃木県小中学校等に配布する。

#### カ 企画展の開催

常設展では表現できないテーマを取り上げて、生物や自然環境についての理解を促進するため、企画展を実施する。また、参加体験型の付帯事業を行う。

その他、平成27年～29年度分のテーマや内容について検討し、決定する。

(企画展の内容)

名 称	内 容	開催期間
第 21 回企画展 「クジラいるか?～来て・ 見て・感じる鯨類の魅力～」	人気プログラム「オーシャンライブ」 の主演である「イルカ」をテーマに神 秘的な生態や鯨類の持つ能力を分かり やすく紹介する企画展を開催する。	平成 25 年 1 月 19 日～5 月 6 日 まで
第 22 回企画展 「カニ展」(仮称)	食用としても利用され、多くの人に親 しまれている「カニ」にスポットを当 て、分かりやすく展示する。	平成 26 年 1 月 月上旬～5 月 6 日 (予定)

キ 深海シアター・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、随時、生物の補充や散発的に発生した動作不良、部品交換等の各種不具合の迅速な解消に努める。また、将来の展示更新のために基本構想を作成する。

ク 自然教室等への講師派遣

教育機関等の各種要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会、移動教室等の各種館外活動を行う。

ケ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バックヤード見学、館内レクチャー、夜の水族館等の各種館内活動を行う。

コ 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習、職場体験学習、インターンシップ等を受け入れる。

(4) 交流・連携事業(誘客促進)

東日本大震災等による入場者減少に終止符を打つべく、震災前と同等の入場者数 10 万人を目標におき、特に最重点地域と定めた栃木県を中心に学校・企業への誘客のための情報発信と観光業者への団体送客営業を実施していく。また、大型集客施設で移動水族館を実施しパンフレット型割引券の配付や生物タッチングなどにより、アクアワールド大洗水族館の知名度アップを図るとともに、誘客に大きく繋がるリピーター確保のため「お迎え体制」の充実を図り、個人・団体に「喜ばれる元気な水族館」の周知広報に努める。

新規生物の展示情報や季節毎のイベント情報など新鮮な話題を迅速に発信し、重点地域の地方テレビや地方新聞などを効果的に活用した広報宣伝(新聞雑誌情報、テレビラジオ等マスメディア)で映像やWeb媒体に主眼をおいた情報発信に努める。

さらに、お客様へのサービス向上と年間パスポートの利用促進のため「贈答用年間パスポート」の販売をすすめ入館者確保に努める。

なお、動物園水族館7園館でのファイト7や三浜地区大型施設連携など地域や関連施設との連携事業による誘客活動を展開し集客に努める。

## (催事計画)

催 事 名	期 間
GWイベント“水族館に動物園&記念品づくり”2013	4/27～5/6 GW期間
七夕イベント“七夕水槽，天の川探索，館内装飾”	6/1～7/7
第38回動物愛護標語コンクール	7/1～31
特別展「ウルトラマンと魚たち」仮称	7/6～9/1
アクアフォトコンテスト2013	募集 6/1～8/31
館内撮影生物写真のコンテスト，表彰	投票 9/7～9/30
夜の水族館サマーナイト「延長営業」＜那珂湊花火＞	8/12 予定
サマーコンサート2013「盆営業とコンサート」	8/12～8/15
ハロウィンイベント2013&ハロウィンナイト	
○ハロウィンクイズラリー	10/1～10/31
○年間パス会員限定：ハロウィンナイト	10/19
○ハロウィンオーシャンライブ①②	10/1～10/31
アクアワールド・クリスマス2013 館内装飾	
○クリスマスイベント 装飾と特別水槽	11/9～12/25
○ちびサンタ3兄弟を探すチャレンジゲーム	11/9～12/25
○クリスマスコンサート	12/22～12/25
年末・お正月イベント ＜開運・干支水槽，餅つき他＞	12/29～1/5
バレンタイン&ホワイトデーイベント	2/1～3/14
アクアワールド感謝祭 周年祭，粗品贈呈，体験事業	3/22～4/6

## 5 収益事業2（水族館売店事業）

## 〔売店事業〕

地域に貢献する観光拠点施設として，マーケットプレイスの物販部門，コーヒーショップ及びミュージアムショップを運営し，賑わいの創出や地域産品等の販売を行い，地域経済への貢献及び水族館の収入確保に努める。

また，オリジナル商品の販売促進を行い，売上げ増に努めると共に，ホームページの充実，さらには店内陳列棚の更新，あるいは各店舗を「地球に優しい環境」に改善していくことによりショップのイメージアップ及びサービスの向上に努める。

## (1) マーケットプレイス物販部門「モラモラ」の運営

ピルル・ブルル・ウルル・ミルルをはじめとするオリジナルキャラクターの販売促進に努めると共に，適正在庫の推進，そして，季節毎の装飾，企画展イベントとタイアップした関連商品の販売等により，利用者の購買意欲を高め，利用率の向上を図る。また，店内什器の更新等を検討するとともに，店舗のレイアウトを見直し，充実を図る。さらに，昨年に引続き環境に配慮し，店舗照明のLED化の推進や包装用資材の無駄の削減等，資源の保護にも努める。

## (2) コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」の運営

季節やイベント等に合わせた「限定メニュー」や新メニューの開発を行い，収益

確保に努めると共に、当館導線の間地点として「ちょっと一息できる空間（憩いの場）」を提供することにより、来館者に愛され親しまれるショップ運営に努める。

(3) ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ショップ名の由来であるサメを意識した商品を充実させ、モラモラとの差別化・区別化をより明確にし、ミュージアムショップとしての位置づけを確立してきたところであるが、今年度は、店内什器の配置換、更新等、明るい雰囲気 연출し、お客様が立ち寄り易い雰囲気を創造しながら、売上増を目指す。

## Ⅱ 収 支 予 算

- 平成25年度財団法人いばらき文化振興財団収支予算書  
(損益ベース) .....17～18
  
- 財団法人いばらき文化振興財団平成25年度資金調達及び  
設備投資の見込み書 ..... 19

平成25年度 財団法人いばらき文化振興財団収支予算書(損益ベース)  
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計 (A)	前年度予算 (B)	増減 (A)-(B)
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 自主文化センター	収2 水族館売店事業	小計	法人運営事業			
I 一般正味財産増減の部										
I 経常増益の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産等運用益										
基本財産等受取利息	108	402	510	0	0	0	0	510	11,050	△ 10,540
② 特定資産運用益	11,361	2,535	13,896	219	299	518	4,157	18,571	17,750	821
退職給付引当資産運用益	775	2,394	3,169	196	261	457	74	3,700	3,979	△ 279
積立資産運用益	10,586	141	10,727	23	38	61	4,083	14,871	13,771	1,100
減価償却積立資産受取利息	1	141	142	23	38	61	0	203		203
助成事業積立資産受取利息	10,585	0	10,585	0	0	0	0	10,585		10,585
その他積立資産受取利息			0				4,083	4,083		4,083
③ 事業収益	357,272	1,192,479	1,549,751	102,427	575,978	678,405	300	2,228,456	1,946,287	282,169
自主公演入場料収益	41,390	0	41,390	0	0	0	0	41,390	21,150	20,240
受託公演入場料収益	6,000	0	6,000	0	0	0	0	6,000	6,000	0
手数料収益	9,464	0	9,464	0	0	0	300	9,764	1,448	8,316
負担金収益	2,800	0	2,800	0	0	0	0	2,800	9,500	△ 6,700
受託公演委託金収益	28,000	0	28,000	0	0	0	0	28,000	29,353	△ 1,353
文化の担い手育成事業委託金	4,668	0	4,668	0	0	0	0	4,668	12,282	△ 7,614
県民文化センター指定管理収益	179,735	0	179,735	0	0	0	0	179,735	197,135	△ 17,400
県民文化センター利用料収益	85,215	0	85,215	9,785	0	9,785	0	95,000	67,500	27,500
自然博物館水系展示水槽	0	21,211	21,211	0	0	0	0	21,211	21,211	0
訪客促進事業委託金	0	0	0	0	0	0	0	0	22,049	△ 22,049
水族館入場料収益	0	1,171,268	1,171,268	0	0	0	0	1,171,268	998,633	172,635
飲食料収益	0	0	0	44,520	0	44,520	0	44,520	32,311	12,209
売店収益	0	0	0	16,000	575,978	591,978	0	591,978	501,714	90,264
諸収益	0	0	0	2,100	0	2,100	0	2,100	396	1,704
駐車場利用料収益	0	0	0	30,022	0	30,022	0	30,022	25,605	4,417
④ 受取補助金等	39,461	16,583	56,044	0	0	0	6,369	62,413	64,241	△ 1,828
受取財団運営費補助金	39,461	16,583	56,044	0	0	0	6,369	62,413	64,241	△ 1,828
⑤ 雑収益	0	1,449	1,449	0	9,491	9,491	731	11,671	12,127	△ 456
雑収益	0	1,449	1,449	0	9,491	9,491	731	11,671	12,127	△ 456
① 指定正味財産からの振替額	11,407	0	11,407	0	0	0	0	11,407	15,381	△ 3,974
経常収益計(A)	419,609	1,213,448	1,633,057	102,646	585,768	688,414	11,557	2,333,028	2,066,836	266,192
(2) 経常費用										
① 事業費	434,596	1,382,086	1,816,682	106,563	567,629	674,192	0	2,490,874	2,957,755	△ 466,881
文化活動団体等助成金	21,056	0	21,056	0	0	0	0	21,056	19,631	1,425
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	39,455	△ 39,455
役員報酬	2,755	7,700	10,455	0	1,208	1,208	0	11,663		11,663
給与手当	124,413	278,342	402,755	25,731	40,235	65,966	0	468,721	472,708	△ 3,987
貸金	6120	103,751	109,871	15,997	32,423	48,420	0	158,291	156,089	2,202
福利厚生費	87	2,316	2,403	63	635	698	0	3,101	1,299	1,802
法定福利費	20,406	59,691	80,097	6,392	11,308	17,700	0	97,797	101,688	△ 3,891
報償費	5,938	1,157	7,095	0	0	0	0	7,095	8,151	△ 1,056
旅費交通費	2,229	4,579	6,808	58	1,250	1,308	0	8,116	9,218	△ 1,102
交際費	35	188	223	10	52	62	0	285	291	△ 6
消耗品費	9,663	41,181	50,844	1,085	10,534	11,619	0	62,463	63,684	△ 1,221
燃料費	4,879	55,085	59,964	179	8,485	8,664	0	68,628	65,896	2,732
会議費	1,446	932	2,378	60	257	317	0	2,695	2,514	181
印刷製本費	9,196	11,688	20,884	409	3,221	3,630	0	24,514	23,188	1,326
光熱水費	32,407	167,028	199,435	4,427	25,489	29,916	0	229,351	220,974	8,377
修繕費	17,111	25,522	42,633	4,484	1,851	6,335	0	48,968	47,345	1,623
飼料費	0	23,830	23,830	0	0	0	0	23,830	23,830	0
医薬材料費	63	1,947	2,010	0	27	27	0	2,037	2,113	△ 76
賄材料費	0	0	0	12,466	25,250	37,716	0	37,716	33,756	3,960
通信運搬費	2,915	3,168	6,083	147	841	988	0	7,071	6,656	415
広告料	9,024	22,953	31,977	96	6,331	6,427	0	38,404	38,684	△ 280
手数料	6,135	28,495	34,630	266	7,906	8,172	0	42,802	37,750	5,052
保険料	538	1,046	1,584	273	151	424	0	2,008	2,136	△ 128
委託料	123,662	309,827	433,489	11,967	46,375	58,342	0	491,831	538,820	△ 46,989
賃借料	13,923	26,679	40,602	4,226	7,210	11,436	0	52,038	48,314	3,724
工事請負費	0	62,111	62,111	0	5,919	5,919	0	68,030	47,296	20,734
原材料費	0	0	0	12,402	305,536	317,938	0	317,938	281,894	36,044
生物購入費	0	13,939	13,939	0	0	0	0	13,939	12,989	950
消耗備品費	0	625	625	273	172	445	0	1,070	2,010	△ 940
負担金	1,219	3,047	4,266	102	1,552	1,654	0	5,920	4,513	1,407
租税公課費	6,981	13,976	20,957	2,073	5,979	8,052	0	29,009	18,946	10,063
退職給付費用	6,343	19,598	25,941	1,609	2,135	3,744	0	29,685	47,304	△ 17,619
雑費	0	78	78	0	22	22	0	100	100	0
修繕工事負担金	0	80,515	80,515	0	12,287	12,287	0	92,802	71,183	21,619
県納付金	6,000	0	6,000	0	0	0	0	6,000	6,000	0
減価償却費	52	11,092	11,144	1,768	2,988	4,756	0	15,900	28,622	△ 12,722
② 管理費	0	0	0	0	0	0	11,420	11,420	0	11,420
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,712	1,712	0	1,712
給料手当	0	0	0	0	0	0	6,681	6,681	0	6,681
貸金	0	0	0	0	0	0	130	130	0	130

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計 (A)	前年度予算 (B)	増減 (A)-(B)
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 自主文化センター	収2 水族館売店事業	小計	法人運営事業			
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,308	1,308	0	1,308
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	195	195	0	195
消耗品費	0	0	0	0	0	0	96	96	0	96
燃料費	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5
会議費	0	0	0	0	0	0	25	25	0	25
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	337	337	0	337
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	21	21	0	21
手数料	0	0	0	0	0	0	27	27	0	27
委託料	0	0	0	0	0	0	84	84	0	84
賃借料	0	0	0	0	0	0	142	142	0	142
消耗備品費	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
負担金	0	0	0	0	0	0	39	39	0	39
租税公課費	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	604	604	0	604
減価償却費	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3
経常費用計(B)	434,596	1,382,086	1,816,682	106,563	567,629	674,192	11,420	2,502,294	2,485,047	17,247
当期経常増減額(A)-(B)	△ 14,987	△ 168,638	△ 183,625	△ 3,917	18,139	14,222	137	△ 169,266	△ 418,211	248,945
2 経常外増減の部										0
Ⅰ(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅰ(2)経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(E)	5,566	0	5,566	0	△ 5,566	△ 5,566	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,421	△ 168,638	△ 178,059	△ 3,917	12,573	8,656	137	△ 169,266	△ 418,211	248,945
一般正味財産期首残高			0				0	1,791,547	1,745,429	46,118
一般正味財産期末残高			0				0	1,622,281	1,327,218	295,063
Ⅱ 指定正味財産増減の部										0
① 一般正味財産への振替額	△ 11,407	0	△ 11,407	0	0	0	0	△ 11,407	△ 15,381	3,974
当期指定正味財産増減額	△ 11,407	0	△ 11,407	0	0	0	0	△ 11,407	△ 15,381	3,974
指定正味財産期首残高			0				0	693,485	700,805	△ 7,320
指定正味財産期末残高			0				0	682,078	685,424	△ 3,346
Ⅲ 正味財産期末残高			0				0	2,304,359	2,012,642	291,717

財団法人いばらき文化振興財団  
平成25年度資金調達及び設備投資の見込み書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

1. 資金の調達の見込み

借入予定の有無    なし

借入	事業番号	借入先	金額(千円)	使 途	備 考
返済	事業番号	返済先	金額(千円)		備 考

2. 設備投資の見込み

取得	事業番号	設備投資の内容	支出予定額 (円)	資金調達方法
	公2	魚類剥製標本製作	525,000	自己資金
	公2	ナガスクジラヒゲ板標本作製	1,575,000	自己資金
	公2	アシカ保定器	315,000	自己資金
	公2	お魚発見教室用クーラー	262,500	自己資金
	収2	ケーキ用ショーケース	630,000	自己資金
	公2	カピバラ岩風呂設置	1,220,000	自己資金
		計	4,527,500	
除却	事業番号	設備の内容	収入予定額(千円)	取得資金の使途